



平成 29 年 4 月 19 日

各位

会社名:ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社  
代表者名:代表取締役社長 菅野 隆二  
(コード番号:6090 東証マザーズ)  
問合せ先:取締役経営管理本部長 長谷川 哲也  
(TEL:03-3551-2180)

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 5 月 11 日に公表した平成 29 年 3 月期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の連結業績予想を以下のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 平成 29 年 3 月期の連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	810	△273	△276	△279	△52.48
今回修正予想(B)	914	△43	△40	△61	△10.86
増減額(B-A)	104	230	236	218	—
増減率(%)	12.9	—	—	—	—
(参考)前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	780	△70	△71	△71	△13.41

### 2. 修正の理由

売上高につきましては、主力であるメタボローム解析事業において、食品・製薬分野を中心とし受注が堅調に推移し、予想を上回りました。

利益面につきましては、受注が堅調に推移したことによる売上増のほか、メタボローム解析事業における生産性の向上により売上総利益が増加いたしました。また、大うつ病性障害血液バイオマーカー(リン酸エタノールアミン)の実用化・事業化への投資を効果的に行うため、一部、研究開発投資を次期に繰り越した事等により、営業利益・経常利益ともに損失額が縮小する見込みであります。

以上の理由により、売上高、利益とも前回発表予想を上回る見込みとなりました。

平成 30 年 3 月期も引き続き、メタボローム解析、バイオマーカー両事業の中長期的な成長のため、積極的な投資・研究開発活動を行ってまいります。

(注) 上記の予想は、本資料発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上